

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項

計画コード	22093	事業名	地域まちづくり協議会支援事業			
事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()					
施策体系	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化		予算科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:自立した地域まちづくり活動の促進			款	02:総務費
	施策の方向	01:地域まちづくり活動の活性化			項	01:総務管理費
	重点プロジェクト	02:「まち紡ぎ」プロジェクト			目	11:自治振興費
事業期間	H 29 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		亀山市地域まちづくり協議会条例		

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	市民文化部
課	まちづくり協働課 地域まちづくりG

② 事業概要 (P)

事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
地域まちづくり協議会によって課題や組織力、活動内容は様々であることから、ポストコロナ時代においても継続的な地域まちづくり活動が行えるよう、地域まちづくり計画のさらなる推進に向けた総合的な支援を行う必要がある。	全地域まちづくり協議会	亀山市地域まちづくり協議会条例に掲げる、自分たちの暮らす地域を自分たちで創りあげるという理念の下、地域自らが地域の課題解決に向けて取り組む自立した地域づくりが継続的に行われている。	地域まちづくり活動の活性化のため、従来の交付金に地域活性化支援事業加算分と地域介護予防活動支援事業加算分を加えた新たな地域予算制度による財政的支援、地域担当職員の配置や専門的な助言等を行うアドバイザー派遣による人的支援を行うほか、デジタル技術を活用した運営の推進を行う。また、地域まちづくり協議会の組織強化につながるよう、地域まちづくりに関する研修や地域担い手研修を開催する。

③ 事業の実施状況 (P・D)

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
事業計画		○財政的支援及び人的支援 ○デジタル技術を活用した運営の推進 ○地域まちづくりに関する研修や地域担い手育成の支援		○財政的支援及び人的支援 ○デジタル技術を活用した運営の推進 ○地域まちづくりに関する研修や地域担い手育成の支援		○財政的支援及び人的支援 ○デジタル技術を活用した運営の推進 ○地域まちづくりに関する研修や地域担い手育成の支援		○財政的支援及び人的支援 ○デジタル技術を活用した運営の推進 ○地域まちづくりに関する研修や地域担い手育成の支援		
活動実績 (計画通り実施できたか)		地域予算制度による財政的支援を行うとともに、地域担当職員や地域まちづくり推進アドバイザーの派遣等の人的支援を行った。情報共有システムの活用の充実に努めたほか、オンラインで事務研修を行うなどデジタル技術を活用した運営を推進した。「担い手不足について」をテーマに地域まちづくり協議会交流会を開催したほか、多くの方が受講できるよう工夫して地域担い手研修を開催した。		地域予算制度による財政的支援や制度の見直しを行うとともに、地域担当職員や地域まちづくり推進アドバイザーの派遣等の人的支援を行った。情報共有システムの活用の充実に努めたほか、オンラインで事務研修を行うなどデジタル技術を活用した運営を推進した。ちよこボラをテーマに地域まちづくり協議会交流会を開催したほか、地域のニーズに応じた内容の地域担い手研修を開催した。		地域予算制度による財政支援に加え、地域担当職員の派遣を通じた人的支援を実施した。情報共有システムの活用を促進し、事務の効率化に寄与するシステムを提供するなど、デジタル技術を活用した運営を推進した。また、地域まちづくり協議会の組織強化を目的に、ファシリテーション研修を実施するとともに、地域リーダー養成のための研修「地域の未来づくりアカデミー」を開催した。		地域予算制度による財政的支援や各まち協へのアンケート調査を実施し制度の見直しを行うとともに、地域担当職員や地域まちづくり推進アドバイザー派遣等の人的支援を行った。情報共有システムによる情報交流や事務の効率化支援学習会の開催など、デジタル技術を活用した運営を推進した。担い手不足の解消等をテーマにした「地域の未来づくりアカデミー」や「ファシリテーション研修」を各3回実施し、各地域の情報共有の場となる地域まちづくり協議会交流会を開催した。		
計画額	事業費	31,400千円	24,885千円	31,400千円	24,426千円	31,600千円	29,185千円	31,700千円	27,338千円	
	国・県支出金		0千円							
	地方債		0千円							
	その他	31,400千円	24,885千円	31,400千円	24,426千円	31,600千円	29,185千円	31,700千円	27,338千円	
	一般財源		0千円	0千円	0千円		0千円		0千円	
決算額	事業費	23,331千円		23,905千円		28,135千円		26,287千円		
	国・県支出金	0千円		0千円		0千円				
	地方債	0千円		0千円		0千円				
	その他	23,331千円		23,905千円		28,135千円		26,287千円		
	一般財源	0千円		0千円		0千円		0千円		
①期間内計画額(R4-7)		126,100千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		126,100千円

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	27,338千円
次年度への繰越額	0千円

	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	担い手研修受講者の役員就任	地域担い手研修の受講者が地域まちづくり協議会の役員に就任した人数(累計)	活動	人	計画値	8	9	10	11
					実績値	7	8	9	11
	担い手研修受講者によるサロンの開催	地域担い手研修受講者が開催を支援したサロンの回数(累計)	活動	回	計画値	3	4	5	6
					実績値	3	5	7	9
	アドバイザーを派遣した研修の開催	地域まちづくり推進アドバイザーを派遣した研修の開催回数(累計)	活動	回	計画値	22	25	28	31
					実績値	23	24	24	25

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A		財政的・人的支援によりコロナ禍から脱却した地域活動の展開に貢献できたとともに、各まち協の意見を反映し、地域課題の解決に向けた制度の見直しを行うことができた。また、情報共有システムの活用により各まち協間の情報交流と効率的な協議会の事務運営に寄与した。さらに、地域の担い手育成研修や地域まちづくり協議会交流会の受講者が協議会役員に就任するほか、2地区(昼生・野登)のサロンの開催支援を行うなど、担い手の育成につながった。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
全地域まちづくり協議会	亀山市地域まちづくり協議会条例に掲げる、自分たちの暮らす地域を自分たちで創りあげるという理念の下、地域自らが地域の課題解決に向けて取り組む自立した地域づくりが継続的に行われている。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	令和6年度とあわせ2カ年で地域予算制度を活用した合計33事業が開催され、地域活動の充実につながった一方で、全地域まちづくり協議会が設立10年を迎える中、高齢化に伴う担い手不足の深刻化等の新たな課題に対応する必要がある。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(拡大)	施策の更なる推進に向け、事業の拡大・充実を図る。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの 見直しを行った地域予算制度の活用促進のための説明会の開催や地域担当職員による相談対応を行い、各まち協が制度を活用して、高齢化等の課題解決につなげる。また、デジタルを活用して各まち協間の情報交流を促進するとともに、研修会等の開催により、担い手育成を図る。	令和9年度以降で対応するもの 見直しを行った地域予算制度による財政的支援や地域担当職員等による人的支援及び担い手育成研修等の事業の充実を図る。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	B	A	A
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(拡大)

【履歴】

1次評価者	市民文化部 まちづくり協働課 地域まちづくりGL 大田より子
最終評価者	市民文化部 まちづくり協働課長 松岡保範